

日 付	平成29年7月28日（金）	天 気	晴れ
主な日程	砂糖・バイオエタノール製造工場視察 山本山茶園		
タイムスケジュール	研 修 内 容	研 修 の 写 真	
7：30 宿泊施設出発	コロニア・ピニャールから車で約1時間30分走った場所にあるイタペティニンガ市内の砂糖・アルコール製造工場の見学に行きました。永遠と続くサトウキビ畑を抜けた小高い丘の上に工場がありました。		
9：00 砂糖・バイオエタノール製造工場到着	この工場の周りには35,000ヘクタールのサトウキビ畑があり工場の原料となっています。栽培されるサトウキビ畑の半分は工場所有で残りは契約農家が栽培しています。従業員は工場内で1,200人が働いており、1日にアルコールを40万リットル、砂糖を500トン生産しています。		
工場見学	主力商品のアルコール製造で一番難しいのは発酵の調整です。また、製造で排出されるサトウキビの屑は、工場内にある火力発電の燃料として使われています。そこで作られた電力のうちの3割が工場内で使用され、残りの7割は売電しています。この日の生産はアルコールのみで、砂糖の生産は行っていませんでした。 ここで生産されるアルコールは、おもにブラジル国内の自動車燃料として利用されています。	<p>小高い丘の上にある工場</p> <p>広い工場の敷地を移動する</p> 	
12：30 昼食 （シュラスコ）	ブラジルの「シュラスコ」という形式の食事方法で、肉料理を食べました。鶏、豚、羊、牛の4種類の肉が出てきただけでなく、牛肉でもバラ、クッピンという牛のこぶやニワトリの心臓など様々な種類の肉料理がでてきました。	<p>工場周りに延々と広がるサトウキビ畑</p> 	
14：30 山本山茶園視察	日本の山本山という会社がブラジルへ進出して開いた茶園を視察しました。ここでは45ヘクタールの農地で、やぶきた種という品種を栽培しています。ブラジルで日本茶を栽培しているのはこの茶園のみで、ダイエット目的で飲まれているようです。	<p>目の前で切り分けられるシュラスコ</p> 	
◇1日を終えて	今回ブラジルのバイオエタノールと砂糖の工場を視察しましたが、ここは周囲が広大なサトウキビ畑に囲まれていて、工場の規模もとても大きく想像以上だったので驚きました。また、サトウキビの屑を発電の燃料として有効活用しており凄いなと思いました。山本山茶園では、見渡す限りが茶畑で、ブラジル国内の日本茶はこの場所でしか栽培していないことも伺いました。これまでの実習で見た全ての農場が大きく、日本との栽培規模の違いを実感しました。 (担当 内ヶ島)		

活動のスナップ



広大に広がるサトウキビ畑の丘の上にそびえ立つバイオエタノール工場



工場を案内して頂いた従業員の方と記念撮影し、工場内の見学に出発しました。



パイナップルのシュラスコに
驚く派遣団員



山本山の茶園を背景に派遣団で記念写真